

実在木造建築物の加力実験と 応急危険度判定を行います

建築物の耐震改修の必要性や耐震性能による安全性の違いを一般県民に知っていただくため、飯山市建設業協会と建築士会飯水支部が信州大学と協働して、廃館となった飯山市の施設を利用して実在水平加力実験を行います。実験では、信州大学工学部松田昌洋助教から解説をいただきます。

また、倒壊前には、「応急危険度判定」を実施し、「罹災証明調査」の説明も行います。

■日 時

平成30年11月10日(土) 午後1時～4時

■場 所

「旧 飯山市城山児童館」 飯山市大字飯山 2737-イ-2
(飯山市立飯山小学校北側隣接)

■内 容

- 実在水平加力実験：旧耐震基準による建築物に新耐震基準で増築した物件に外部から力を加えて倒壊までの一連の経過を見ます。
- 応急危険度判定の実施(建築士会)、罹災証明調査の説明(飯山市)を行います。

■その他

- 参加料、ヘルメット等は必要ありません。どなたでも見学いただけます。
- 駐車場は、飯山市武道館西側の市駐車場か飯山市役所駐車場をご利用ください(無料)。

■主 催：飯山市建設業協会、長野県建築士会飯水支部

■問合せ先：(一社)長野県建築士会事務局 【電話】026-235-0561

■長野県建築士会ホームページ(<http://www.nagano-kenchikushikai.org/>)の「イベント情報」もご覧ください。

一般社団法人 長野県建築士会

(事務局長) 湯本和正 (事務局次長) 林信一

電話 026-235-0561 FAX 026-232-2588

Email n-shikai@avis.ne.jp